



長万部小学校入学式

4月6日、長万部小学校で入学式が行われました。

新型コロナウイルス感染防止対策がしっかりと行われた式では、32名の新1年生が先生に名前を呼ばれ元気にお返事をしていました。

第1回定例会のあらまし 2

令和3年度当初予算を可決 4

町政を問う！3人の議員が一般質問 ... 6

委員会活動 13

議会のうごき 14



令和3年

第1回

定例会

令和3年第1回定例会は、3月4日から12日までの9日間の会期で開かれました。

【3月4日】

木幡町長から「令和3年度を初年度とする第4次長万部町まちづくり総合計画にのっとり、本町が誇りと希望の持てるふるさととして、未来に向かい永続的に発展できるよう、各種施策の実現に全力をあげて取り組む」と、町政執行方針が表明され、また、教育長からは教育行政の執行方針の大綱が述べられました。

その後、条例の一部改正や補正予算などの審議をし、農業委員会委員の任命と人権擁護委員の推薦に同意しました。

新年度予算は、議長を除く9名の委員で構成する予算審査特別委員会へ付託しました。

【3月9日】

一般質問に3名の議員が登壇し、町政に対しての所信をただしました。

【3月10日】

予算審査特別委員会が開催され、一般会計のほか7会計の予算について審議した結果、付託された議案すべてを可決すべきものと決定しました。

委員長 村川 毅
副委員長 大谷 敏 弥

【3月12日】

追加議案の補正予算の審議をし、新年度予算を採決しました。

慎重に審議した結果、本定例会に提案された議案すべてを原案のとおり可決し、閉会しました。

補正予算

○令和2年度一般会計補

正予算(第17号)

歳入歳出からそれぞれ1億5164万9千円を減額し、予算総額は65億7210万8千円となりました。

各種事務事業等の終了による執行経費や物件費等の不用額を精査し減額しました。

○令和2年度一般会計補正予算(第18号)

○令和2年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)

歳入のあもな補正は、国庫支出金などの追加、歳出のあもな補正は、新型コロナウイルススワクチン接種記録に係るシステム改修委託事業などの追加です。

○令和2年度介護保険特別会計補正予算(第4号)

歳入歳出にそれぞれ19万6千円を追加し、予算

歳入歳出にそれぞれ123万円を追加し、予算総額は65億7333万8千円となりました。

○令和2年度国民健康保険特別会計補正予算(第6号)

歳入歳出からそれぞれ1千304万1千円を減額し、予算総額は7億8203万9千円となりました。

○令和2年度ガス事業会計補正予算(第2号)

歳入歳出にそれぞれ2千475万1千円を追加し、予算総額は8億99

54万9千円となりました。

○令和2年度公共下水道事業特別会計補正予算(第4号)

歳入歳出からそれぞれ2千321万4千円を減額し、予算総額は3億217万3千円となりました。

○令和2年度ガス事業会計補正予算(第2号)

収益的収入から12万円を減額し予算総額は1億1834万円に、収益的支出から102万円を減

額し予算総額は1億4027万2千円に、また、資本的収入から1145万6千円を減額し予算総額は5414万4千円に、資本的支出から1142万5千円を減額し予算総額は8205万2千円となりました。

条例

○長万部町議会議員及び長万部町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例

公職選挙法の一部改正に伴い、選挙運動用ポスターの作成等が条例による選挙公営の対象となつたことから、新たに条例を制定しました。

○長万部町介護保険条例の一部を改正する条例

介護保険料の変更のほか、新型コロナウイルス感染症の定義を改正しました。

○長万部町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例

収益的収入から1億100万円を減額し予算総額は6億2502万1千円に、収益的支出から7598万1千円を減額し予算総額は6億9016万8千円に、また、資

運営の基準等に関する条例の一部を改正する条例

○長万部町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営の基準等に関する条例の一部を改正する条例

○長万部町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営の基準等に関する条例の一部を改正する条例

基準省令の一部改正に伴い、省令で定める基準に合わせ各種介護サービスの基準等を改正しました。

計画

○第4次長万部町まちづくり総合計画の策定

本町における最上位計画として、計画期間を令和3年度から12年度までの10年間とする計画の策定について議会の議決を求めました。

その他

○専決処分の承認
令和2年度一般会計補正予算(第15号)

さかえ保育所の暖房ボイラーが故障し、早急に修理する必要があるため、補正予算額71万5千円を専決処分しました。

令和2年度一般会計補正予算(第16号)

大雪の影響等により除雪委託費の不足が見込まれることから、補正予算額3千9百万円を専決処分しました。

○長万部町農業委員会委員の任命

欠員補充のため、次の1名を任命することに同意しました。

加藤 政子 氏

○人権擁護委員の推薦
任期満了に伴い、次の1名を推薦することに同意しました。

石垣 聖子 氏

議会の会議録はホームページでご覧になれます

長万部町ホームページトップ → 町議会 → 会議録 からお入りください。

長万部町役場ホームページ

<http://www.town.oshamambe.lg.jp>

令和3年度一般会計

当初予算49億9,800万円

前年度対比 2億6,100万円、5.5%の増

《予算編成の方針》

新年度予算編成にあたっては、税財源の確保はもとより、国の取組と基調を合わせた歳出全般にわたる徹底した見直しを行い、ふるさと長万部が未来に向かい永続的に発展できるよう、産業の振興、福祉の向上、教育の充実を柱に編成されています。



《一般会計の概要》

前年度対比 2億6,100万円、5.5%の増となっております。

増額となった主な要因は、し尿処理施設解体工事、北海道新幹線建設負担金、町有林間伐外、水産基盤整備負担金などの事業によるものです。

令和3年度各会計の当初予算の比較

会計名	令和3年度	令和2年度	比較	伸び率	
一般会計	49億9,800万円	47億3,700万円	2億6,100万円	5.5%	
特別会計	後期高齢者医療	1億514万7千円	1億242万4千円	272万3千円	2.7%
	国民健康保険	7億4,936万円	7億5,991万3千円	▲1,055万3千円	▲1.4%
	介護保険	8億7,830万円	8億470万8千円	7,359万2千円	9.1%
	公共下水道事業	3億1,768万7千円	3億1,167万円	601万7千円	1.9%
公営企業会計	ガス	1億8,593万4千円	2億3,486万7千円	▲4,893万3千円	▲20.8%
	水道	2億4,301万1千円	2億1,653万7千円	2,647万4千円	12.2%
	病院	7億3,523万7千円	7億5,919万5千円	▲2,395万8千円	▲3.2%
計	82億1,267万6千円	79億2,631万4千円	2億8,636万2千円	3.6%	

※公営企業会計は資本的会計等を含めて掲載しております。

常任委員、議会運営委員が改選されました

常任委員、議会運営委員の任期は2年と定められており、このたび任期満了につき改選が行われ、委員長・副委員長が次のとおり決定しました。

また、議会広報編集特別委員会でも委員長・副委員長の変更がありましたので、併せてお知らせいたします。

《総務常任委員会》

委員長 村川 毅
副委員長 高森 功治

《産業建設常任委員会》

委員長 大谷 敏弥
副委員長 橋本 収司

《議会運営委員会》

委員長 辻 紀樹
副委員長 北川 佳嗣

《議会広報編集特別委員会》

委員長 高橋 克英
副委員長 長崎 厚

● 議員の出席簿 ●

令和3年1月～令和3年3月

会議名	開催日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
		村川	辻(紀)	高橋	大谷	長崎	橋本	高森	北川	柏倉	辻(義)
第1回定例会	3月4日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	3月9日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	3月12日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第1回臨時会	2月1日	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
	1月28日	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
	2月24日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
全員協議会	3月1日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	3月4日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	3月9日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	1月28日	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
	2月1日	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
総務常任委員会	2月24日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	3月4日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	2月1日	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
	2月24日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
産業建設常任委員会	3月4日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	1月28日	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
	3月1日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議会運営委員会	3月4日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	3月9日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	2月16日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
まちづくり・新幹線調査特別委員会	1月15日	—	—	○	—	○	○	—	○	—	—
	3月1日	—	—	○	—	○	○	—	○	—	—
	3月9日	—	—	○	—	○	○	—	○	—	—

○ (出席) × (欠席) — (出席対象外)

所管事務調査 (委員会が受け持つ調査内容)

第2回定例会(6月)までの各常任委員会、議会運営委員会の所管事務等調査事項は次のとおりです。

《総務常任委員会》

・地域会館 ・新型コロナウイルスワクチン接種事業

《産業建設常任委員会》

・商工観光振興 ・農業振興 ・町営住宅

《議会運営委員会》

・議会運営に関する事項及び議長の諮問に関する事項

町政を問う

一般質問とは

議員が町政全般にわたり、執行機関（町長・教育長など）に疑問点をただし、所見を伺うことです。



柏倉恵里子 議員

地域猫の取り組みを 7

天然ガス事業所の現状と対応について 8～9

不妊治療に町の助成を 9



橋本 収司 議員

新幹線開業を見据えた
中心市街地における商業機能の確保について
..... 10～11



村川 毅 議員

コロナ禍の避難所開設・運営訓練は 11～12

定例会2日目、3人の議員より一般質問が行われました。
その内容を要約してお知らせします。

※全文は町ホームページからご覧になれます。

[町ホームページトップ](#) → [町議会](#) → [会議録](#)

— 柏倉 恵里子 議員 —

地域猫の取り組みを

(町長) 取り組みをする団体があれば 助成金の検討をする

柏倉 地域猫とは、これ以上野良猫を増やさないために、自治体や保護団体が助成金を出して去勢手術をし、地域で面倒をみるという取り組みである。手術が終わった猫は、その目印として耳がV字か平らにカットされている。この取り組みを続けていくと、やがて野良猫はいなくなるはずだ。いくら餌を与えないように呼びかけをしても、目の前にお腹を空かせた猫がいたら、猫好きな人は餌を与えてしまう。大事なことは餌を与える人を責めるのではなく、餌を与えなければいけない猫を増やさないとだ。自治体でこの取り組みを進めていただきたい、町長の所見を伺う。

町長 野良猫については、鳴き声や庭・住宅周辺へのふん尿をはじめとする生活環境の悪化、車を傷つけるなどの財産へ

の被害といった問題がある。また、無秩序な餌やりによる残った餌からの悪臭・害虫の発生、カラスやハトの増加、野良猫の他地域からの流入および繁殖による増加、周辺でのふん尿被害の増加など様々な生活環境の悪化を招くおそれがあるので、野良猫には餌を与えないよう周知をしているところである。飼い猫についても、外飼いをすると交通事故や病気のリスクが高く、ふん尿や鳴き声など近所迷惑になる場合もあるため、室内で飼育するように努めることとされている。

地域猫活動は、野良猫を適切に飼養し管理するため、地域の住民の理解と協力のもと共同飼養する活動のことである。その活動は、その地域に住んでいる住民が協力し、地域に住み着いている猫に不妊去勢手術を行い、

今以上に数が増えないように管理をするもので、併せて、餌やりやふん尿の始末を適切に行うことにより、猫によって迷惑を被っている住民たちの理解が得られるよう配慮し、また、餌場やトイレの管理をすることで、地域の環境美化にもつながる。

このような地域猫活動をしていただける団体があれば、町の支援策として、不妊去勢手術の助成金制度なども検討する。

柏倉 保護団体がなければ何もしない、と解釈できない。野良犬はほぼいなくなったが、野良猫はすごく目につく。資金もかかることなので、保護団体ができるのはすごく難しいと考える。
今回質問したの



子猫を連れた野良猫

は、町民に地域猫というあり方をまず理解してもらいたいのが一つ。そして保護団体ができるまで、自治体として何かできることはないのか。
町長 畜犬は町民課が担当しているが、猫についてはどこまでできるか検討課題である。

— 柏倉 恵里子 議員 —

天然ガス事業所の現状と対応について

(町長) 最善策を検討し
できるだけ早めに判断したい

柏倉 昨年7月末に平

里にある天然ガス事業所
のガス供給および温泉輸
送設備が故障し、老人福
祉センターと東京理科大
学学生寮への温泉送湯が
できなくなった。老人福
祉センターは現在も入浴
が休止中で、施設を利用
されていた多くの皆様か
ら今後の情報がほしいと
の声が聞こえている。
故障の発生からの取り
組みと現状、将来に向
けた見直し、また、東京理
科大学学生寮への温泉送
湯については、どのよう
な協議を進めているのか。
町長の所見を伺う。

町長 天然ガス事業所
の現状については、昨年

7月、施設設備の故障に

よって2基の稼働井から
の天然ガスおよび温泉採
取作業が停止しており、
現在も町営ガスの一部原
料である天然ガス供給、
老人福祉センターおよび
東京理科大学学生寮への
温泉送湯が休止状態と
なっている。

天然ガスの供給につい
ては、当初から老朽管対
策として今年度で廃止す
る予定であったので、町
営ガス事業には問題はな
いが、温泉供給に関して
は、町民や東京理科大学
にも大きな影響が出てい
ることは十分認識してい
る。

この施設を復旧させる

ために様々な方法と対策

をこれまで検討してきた
が、復旧には多額の工事
費用と工事期間を要し、
設備を更新させたとして
も井戸が老朽化している
ことから、多年にわたっ
て安定的な供給ができな
くなることも懸念材料と
して浮上してきたところ
である。

このことから、将来に
向けた見直しについて費
用対効果も検討したとこ
ろ、再開するにはとても
難しい状況ではあるが、
天然ガス事業所のあり方
については、今後も最善
策を検討し出来るだけ早
いうちに判断したいと考
えている。

東京理科大学学生寮へ

の温泉送湯については、
理科大と連携している
「温泉水無償供給契約」
により、温泉水を無償で
供給することになってい
るため、昨年10月に理科
大側に報告をし、今後大
学側に不利益が生じない
よう種々協議させていた
だきたいと申し入れてい
る。

現在、別方法として、
長万部温泉の余剰温泉水
量などの調査を行ってお
り、その結果により理科
大へ送湯可能かどうか
などを判断し、可能な場
合は送湯の検討を進めたい
と考えている。

一方、送湯が困難な場
合は、理科大側で水道水
を加熱して浴場使用をす
るので、新たに水道水使
用量や加熱用重油使用量
が増加することが考えら
れる。この場合、理科大
としては今まで以上に経
費の負担が増して不利益



天然ガス事業所

を被るようになるので、
その増加経費負担分を補
助金の増額などで対応で
きないかどうか検討協議
をしていきたい。

柏倉 余剰温泉水量の
調査終了はいつか。

町長 3月いっぱい
予定している。

柏倉 老人福祉セン
ターについてはどうか。

町長 昨年7月に送湯
できなくなつてから完全
に湯船が老朽化し、タイ
ルもはげている状況であ
る。距離的に考えても無
理があり、浴槽を改修す
ると金額も相当になる。
送湯は無理であろうと判

断している。

柏倉 閉館するという
ことか。

町長 お風呂が使えるな
くても会館としての機能
は十分生きており、避難
所にもなっているため有
効活用していきたい。

柏倉 理科大との温泉
水無償供給契約はいつさ
れたのか。

まちづくり推進課 平成29年
1月1日である。

柏倉 温泉水でなくて
も理科大ではお風呂に入
ることができるといふこ
となので、理科大側にも
不利益が生じるのである
うが、町の逼迫^{ひっばく}している
財政状況も勘案し、上手
に協議をしてほしい。

町長 環境整備事業と
して年間450万ほど理
科大に補助しており、そ
こにプラスする可能性も
判断材料の中に入って
いる。

— 柏倉 恵里子 議員 —

不妊治療に町の助成を

(町長) 助成制度導入について検討する

柏倉 昨年12月の第4
回定例会において、不妊
治療への保険適用の拡大
を求める意見書を全議員
の賛同をいただき、内閣
総理大臣と厚生労働大臣
宛に提出した。おかげさ
まで、令和2年度の第3
次補正予算より所得制限
が撤廃され、助成額も1
回15万円から30万円と拡
充されることが決まった。
令和4年度からは保険
適用になるが、しかしな
がら不妊治療は頻繁に通
院する必要があり、体外
受精や顕微授精は、1周
期の費用目安は30万円か
ら100万円と高額だ。
中には200万円かかっ
たという人もいる。

町長 不妊治療につい
ては、国において、出産

を希望する世帯を広く支
援するため、令和4年4
月から保険適用を実施す
ることとし、保険適用ま
での間、現行の不妊治療
の助成制度について、所
得制限の撤廃や助成額の
増額などを行い、経済負
担の軽減を図ることとし
ている。今後は、中央社
会保険医療協議会におい
て、保険適用の範囲につ
いて議論され決定するこ
とである。

保険が適用されること
により、経済的負担の軽
減につながることを期待
されるが、すべての治療
が保険適用になるとは限
らないことや、保険適用
が実施されることに伴い、
現行の国の助成制度につ
いても見直しされること
が想定される。

子どもを望む方々の経
済的負担の軽減を図り、
安心して子どもを生み育
てられる環境をつくるこ
とは、少子化対策の観点

から重要な課題であると
捉えている。

以上のことから、保険
適用が実施される令和4
年度を見据え、不妊治療
に対する助成制度導入に
ついて検討していく。

柏倉 令和4年4月か
らは保険適用になる。範
囲がどうなるかわからな
いが、令和4年を待つ
のではなく、今実際に不妊
治療にあたっていらっしゃる
方々
に対しての助成を私はお
願いしたい。補正予算を
組んで支援する考えは。

町長 令和3年度内に
やれるかどうか、制度設
計は考えていきたい。



— 橋本 収司 議員 —

新幹線開業を見据えた 中心市街地における商業機能の確保について

(町長) 商業機能を支える基盤整備として 本町通の拡幅整備を北海道に要望している

橋本 新幹線開業にむ

け、現在トンネル工事が進んでいるようだが、駅前周辺の本町通商店街などがどうなるのかという話は、まだまだ聞こえてこない。人口が減少し産業が衰退する社会情勢の中、新幹線開業のこの機会が商業活性化の最後のチャンスだと考える。

令和元年度に実施された町民アンケートでも「新幹線開業を見据えた計画で重要なものは何か」との問いに対し、全体の1位43・3%の町民が「中心市街地における商業機能の確保」が重要と回答している。町民からも高い関心があることから、新幹線開業を見据えた中心市街地における商業機能の確保について、今後どのようなまちづくりを進めるつもりか、町長の所見を伺う。

町長 中心市街地における商業機能の確保は、

新幹線開業効果を最大限に発揮させるためにも大変重要と認識している。

平成30年に長万部まちづくり推進会議が取りまとめた「長万部まちづくりアクションプラン」でも、まちなみ形成分野において「中心市街地における商業機能の確保」をプロジェクトとし、「長万部駅周辺における民間を主体とした商業空間の検討」・「長万部駅周辺における長万部の顔となる商業機能を支える基盤整備」の2つの施策の提言を受けている。この施策は、アクションプランのロードマップに従い、取り組みを進めているところである。

現在は、商業機能の確保を踏まえた都市計画の基本方針について、「長万部都市計画マスタープラン」や「立地適正化計画」の策定作業を進めているところであり、商業機能



本町通商店街

を支える基盤整備については、本町通の拡幅整備を平成18年から毎年北海道に要望を続けている。

さらに、商業機能の確保に関連し、先月行った都市計画マスタープランの意見募集では、「長万部駅周辺で土地区画整理事業を検討すべき」との意見があったことから、都市計画の戦略的まちづくり方針について、土地区画整理事業の導入を検討する旨を追加し、今月16日に予定している都市計画審議会において修正案を諮る見込みとなってい

る。

橋本 土地区画整理事業とはどのような事業か。

新幹線推進課長 この事業は、街路拡幅のように個別事業で用地を買収して整備する個別整備方法とは異なり、まとまった区域の住民が全員参加し、公共施設の整備と同時に最も土地を利用しやすいよう画地の再配置・換地を行うなどし、総合的に利用価値の高い宅地面を整備する、まちづくりの総合的な整備方法である。

橋本 その施策でいう長万部駅周辺とは本町・元町地区のことで、道道昇格による道路の拡幅から初めての土地区画整理事業と思うが、拡幅整備予定のない大町地区は検討されないのか。

新幹線推進課長 土地区画整理事業は、事業主体が個人の場合、組合の場合、公共主体の場合の

3パターンがある。仮に、地元地権者や商業者などが組合を作り区画整理事業を実施する場合には、大町地区も検討することは可能と思う。ただ、道の整備だけに着眼すると、街路と街並みを複合的に整備するなら、駅前から5号線の交点までの本町側の区域ということになる。

橋本 時期的にはいつ頃までに検討するのか。

新幹線推進課長 現在、駅前周辺整備で本町通の拡幅を要望しており、令和4年度をめどに都市計画変更を行い街路事業を進める計画をしている。まずはその街路について、先ほど申し上げた個別整備にするのか区画整理を含めた複合整備にするのか、という判断を令和4年度までに検討しなければならぬ状況である。

橋本 令和4年度までにということだが、この

事業の計画が遅れると、今の商店街の事業者達も10年先の計画を立てられる状況ではないはずだ。今後、新幹線駅開業に向けてこの区画整理事業で商業エリアについても検討し実現することが、町民が参加する最大のチャンスであり長万部まちづくりの第1歩である。また検討の段階であるが、町長の思いは。

町長 まちづくりの検討協議会でも様々なご意見をいただき、今後、事業者のアンケート調査も実施しながら、本町通の道道拡幅の工事に向けて進めていきたい。

橋本 前向きに進めていければいいと思うが、この計画をぜひやっていただきたい。

町長 進めていきたいと思っている。

— 村川 毅 議員 —

コロナ禍の避難所開設・運営訓練は

(町長) 関係機関の協力のもと実施する

村川 2011年3月11日の東日本大震災から間もなく10年を迎えようとしている2月13日の深夜に、最大震度6強の地震に襲われた宮城・福島両県の各自治体は、新型コロナウイルス禍での避難所運営にあたり、事前の訓練が迅速な動きにつながったという報道があった。

今はコロナ禍ということで、10年前とは避難所の開設や運営の仕方が大きく異なる。避難所の運営業務は町内会で担うことになると思うが、マスク・消毒・検温・間仕切り、さらには体調不良者の部屋はどこにするのか等々、今までは違う感染防止のための避難所を準備しなければならぬ。昨年6月の一般質問においても、避難のあり方については地元対応等をするということだったが、1日も早く町内会等と協

議をし、避難所開設・運営訓練をするべきと思うが、町長の所見を伺う。

町長 避難所における新型コロナウイルスをはじめとした感染症対策については、昨年7月に避難所マニュアルを改訂し、3密回避のための避難者間のスペースの確保や、定期的な換気の実施、手洗い・咳エチケット等の基本的な対策の徹底、避難者や運営スタッフの健康状態の管理などにより、感染リスクの低減を図ることとしている。また、改訂内容については、被災時に避難所運営の中心的役割を果たしていただくこととなる各町内会へ周知するとともに、町として備蓄用マスクの確保などに努めてきたところである。

本年1月21日には、国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用したダンボー

ルベッドおよび間仕切り用のパーティションが納品されたことから、今後、新型コロナウイルスの感染状況を踏まえた上で、各町内会に参加していた、避難者の受付や検温、ダンボールベッドの組み立て、パーティションの設置など、避難所の開設および運営に係る実践的な訓練を関係機関の協力のもと実施したい。

また、コロナ禍においては「親戚知人宅」・「在宅避難」・「車中泊」などの分散避難も、避難所を密にしないための選択肢となることから、引き続き町広報などを通じて情報の発信に努めていく。

村川 感染状況が続く中で大人数の訓練はなかなか難しいと思うが、災害は待つてはくれないので、何とか工夫して1日も早く訓練の実施をしてほしい。

また、分散避難などに



配備予定の段ボールベッドとパーティション

ついて、町広報等を通じて情報発信するということが、1月に納品されたという段ボールベッドやパーティションについての取扱い方法など、一連の流れを写真付きで町広報を通じて紹介してほしいと思うが。

総務課長 広報等を通じて皆様に関わりやすい形で周知したい。

村川 感染リスクの低減を図るといって、今までの避難所とは全く違う避難所の運営をしなければならぬということも町民に広報してほしい。

すでに段ボールベッドと間仕切り用のパーティ

ションがあるということだが、パーティションというのは段ボールか。

総務課長 素材は段ボールだ。

村川 段ボールベッドの個数と、パーティションは各避難所に行き渡るほどの数があるのか。

総務課長 パーティションと段ボールベッドは、それぞれ400台を準備している。福祉センター、スポーツセンター、青少年会館を基準に個数を算出した。

村川 通常はどこに保管しておくのか。

総務課長 現在は双葉の旧小学校に保管しているが、今後、各避難所の状況を見てスペース等を確保しながら配置したい。

村川 段ボールであればそれほどスペースは取らないと思うので、各避難所に設置しておいたほうがいいと思う。

避難所マニュアルにつ

いては、各町内会に周知したということだが、この中で、避難所の運営に係る役割分担が、町内会・避難者・避難所担当職員とそれぞれ決められている。なかでも避難所担当職員が結構大変な役割だと思う。現在、各避難所の担当職員の割り振りは決まっているのか。

総務課長 地域防災計画に基づき、総務班や厚生班などの班分けをしており、発災した場合にそれぞれで役割分担する形である。具体的には、災害対策本部を立ち上げ、その中で担当配置が決まる。

村川 今までの災害避難所であればそれでよかったと思うが、今回は感染対策を備えた避難所を開設しなければならぬ。避難者が来たと同時にパーティションを作つて密にならない状況を作らなければならない。も

ちろん町内会の人はいらるだろうが、そこに担当職員が間に合わないことになる。マニュアルでは担当職員は避難所の鍵を開けるところから役割分担がある。やはりもう一度職員がどういう役割分担で、どういう行動をしなければならぬかということを考えてほしい。

町長 本当に指摘のとおりで、コロナ禍におけるマニュアルの策定というものは、現実には今から真剣に取り組んでいかななくてはならない。指摘の部分は今後きちんと整理して対応していきたい。



産業建設常任委員会

2月1日

①除雪事業

町道等除排雪業務委託について調査

2月24日

①水産振興

水揚・生育状況、ホタテ稚貝生育状況について調査

3月4日

①委員長、副委員長の互選

②所管事務調査

第2回定例会までの所管事務調査を協議

議会運営委員会

1月28日

①第1回臨時会の運営について協議

3月1日

①第1回定例会の会期及び日程、提出される議案などの取扱いについて協議

3月4日

①委員長、副委員長の互選

②第2回定例会までの所管事務調査について協議

3月9日

①第1回定例会の運営について協議

まちづくり・新幹線調査特別委員会

2月16日

①まちづくり新幹線等に関する調査
第4次長万部町まちづくり総合計画、
バリアフリーマスタープラン（移動等円滑化促進方針）、駅周辺整備について調査

委員会活動



総務常任委員会

1月28日

①財産管理

公共施設等ストックマネジメント計画について調査

2月1日

①選挙公営

選挙運動費用の公費負担（選挙公営）制度について調査

②介護保険事業

第8期長万部町高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（素案）について調査

2月24日

①空き家対策

空き家等所有者アンケート結果について調査

②学校教育

小中学校児童生徒数、静狩小学校について調査

3月4日

①委員長、副委員長の互選

②所管事務調査

第2回定例会までの所管事務調査を協議

議会広報編集特別委員会

1月15日

①議会だより第206号の編集

3月1日

①委員長、副委員長の互選

3月9日

①議会だより第207号の編集

議会のうごき

1月

各種行事コロナにより中止

2月

各種行事コロナにより中止

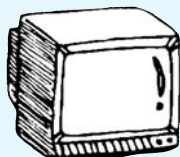
3月

4日	第1回定例会	全議員
9日	第1回定例会	全議員
12日	第1回定例会	全議員



議場のテレビ放映

役場1階ロビーで定例会、臨時会の模様を放映しています。



この広報紙は再生紙を使っています。

お願い

議長宛ての案内などの文書は、
議会事務局へ送付ください。

議会を傍聴してみませんが

次の定例会は6月です

署名をしないで傍聴することができるようになりました。



令和3年3月11日、東日本大震災発生から10年目を迎えました。津波や原発事故など、かつてない被害を目の当たりにし、いまだに行方不明者は2500人以上におよびます。今なお捜索中であり、早期に発見されることを心よりお祈り申し上げます。今年度は東京オリンピックの開催が予定されていますが、新型コロナウイルスの感染状況次第によって開催できるか不透明な現状です。道内でも変異株の確認が相次いでおり、第4波の感染拡大が心配され、道民に注意喚起されております。さらなる感染予防の対策が必要と思います。

議会広報編集特別委員会

委員長 高橋 克英

副委員長 長崎 厚

委員 橋本 収司

北川 佳嗣